

形成外科医に会う

クラーク空軍基地 USAF 病院での 1 年間の研修期間を経て、フロレンシオ Q. ルセロ博士は 1970 年に極東大学研究所で医学士の学位を取得した。

彼は、形成外科医であることを証明するフィリピン外科医大学が認める唯一の委員会、フィリピン形成外科委員会から 1979 年に正式に保証され、1981 年から形成手術を行っている。

経歴

一般的手術および形成手術 – 1970 年-75 年、フィリピン大学、フィリピン総合病院

美容外科特別研究員 – 1977 年-79 年、米シカゴ州ストレイス・クリニック

火傷手術特別研究員 – 米イリノイ州、シカゴ、クック州立病院

専門医 – 1981 年以来、フィリピン形成外科委員会

職位

形成手術科主任 – 1989 年から現在まで、フィリピン総合病院

委員長 – 2002 年から現在まで、フィリピン形成外科・美容外科連合

教授 – 1979 年から現在まで、フィリピン大学、医科大学

検査官 – フィリピン形成外科委員会

名誉会長 – 2004 年代 12 回アセアン形成外科会議

設立メンバーでフィリピン幹事 – 美容形成外科東洋協会

会員 – 美容形成外科国際協会

評議員 – 2005 年、フィリピン外科大学

お問い合わせは；

携帯；63917 5234912 電話；6713242

E メール；fqlucero@mac.com dr-flucero@pltdsl.net

ウェブサイト；www.stemcellphil.com

理 解

自 家 脂 肪 幹 細 胞 移 植

再生医療の最新手順

究極の老化防止療法

フロレンシオ Q. ルセロ博士執刀

よくある質問；

1. 幹細胞とは何ですか？

幹細胞は、生命の基本的素材、つまり我々の体が作られている基本的細胞です。それらは概念的に形を成し、筋肉、神経、器官、骨、血液など体の全ての異なる組織になるため専門化したとされる。

2. 何時、我々は体の幹細胞を使うのか？

我々は、傷ついたあるいは病気にかかった組織を修復し交換するため、体に蓄えた幹細胞を利用します。残念ながら、我々の蓄えは有限で減少し、体を再生する力は衰え、病気、障害に倒れ老化するのです。

3. 人の体の幹細胞源は何ですか？

臨床的に利用可能な患者からは3つの源があり、骨髄、末梢血、脂肪です。

4. 幹細胞を収集する最高の源は何ですか、またその理由は？

ヒト間葉系幹細胞が豊富で、骨髄と比較して4,000万から5,000万以上の幹細胞が収集できるから、人の体から幹細胞を収集する最高の源は脂肪です。

5. 自家脂肪幹細胞移植とは何ですか？

脂肪吸引により患者の脂肪および末梢血から100ccの休止中の幹細胞を収集する。収集した休止中の幹細胞は成長因子を刺激して培養し、隔離し静脈注射により患者に戻します。局所麻酔を受け手術室で、全ての手順には4時間程度かかります。収集におよそ1時間、幹細胞の培養および刺激、そして患者に戻す静注に3時間かかります。

6. 自家脂肪幹細胞移植には何か道徳的、あるいは宗教的問題がありますか？

腹部脂肪から収集した患者自身の幹細胞を使用しますから全く問題有りません。さらに、「あなたから取って、あなたに戻す」のですから、幹細胞の拒絶反応というような問題もありません。

7. 誰が処置を行うのですか？

自家脂肪幹細胞移植は、上級形成外科医で脂肪幹細胞移植のフィリピンの先駆者で専門家であるフロレンシオ Q. ルセロ博士が行います。脂肪幹細胞移植の技術は香港のアクティシステム社が提供します。

フロレンシオ Q. ルセロ博士は、フィリピンの公認形成外科の委員で、米国の研修医で形成外科および美容外科の特別研究員です。彼は、開業医および大学で25年以上の経験を持ちます。形成外科手術の分野で重要な専門的リーダーで、医療専門協会でのいろいろな役職に就いている。

脂肪幹細胞移植を通じた内面からの若返り、形成外科手術を通じた外面の若返りと患者に総合的若返りを提供することが彼の関心事です。

8. 自家脂肪幹細胞移植が最も有益であるという証は何ですか？

自家脂肪幹細胞移植は、多種多様な変性的病気に対し大きな効果があります。現在まで我々は、アルツハイマー病、パーキンソン病、心血管疾患、糖尿病、関節炎、それに老化そのものにさえ効果を確証しました。病気に対する効果とは別に、より若い外観、より強い感覚という観点から若返りという有益な付随的効果があり、ある患者の場合は性欲が増大しました。世界で非常に尊敬されている科学者によると、我々は老化現象に対処することができ、いつか120歳から130歳まで健康に生きられる日が来るだろうという。

9. この幹細胞処置はいつ頃から行われていますか？

フィリピンでは最初、2006年7月に予定されていました。

10. 処置について更に詳しく知りたい時は何処に電話すれば良いですか？

以下のフロレンシオ Q. ルセロ博士の事務所にご連絡ください。

マニラ ドクターズ ホスピタル 美容外科センター
ユニテッド ネイションズ、マニラ 524-30-11 内線 4527、ファックス；671-6781
Eメール；fqlucero@mac.com dr-flucero@pldtdsl.net
PUVENIS
224号室、ビル1、ボニファシオ ハイ ストリート、ボニファシオ グローバル シティ、タギッグ、フィリピン
電話；856-1556、856-1543、856-1513